

# 武蔵野日記

発行人 社会福祉法人武蔵野

武蔵野市吉祥寺北町4-11-16

0422(54)7666

(8月25日~9月22日) 10月1日現在 職員総数 309名

## 実習生受け入れを通して「人材の確保とその育成」を考える

桜堤ケアハウス 施設長 村田 学

先日、職員採用の一次面接に立ち会う機会がありました。きっと、新規採用された職員は期待と不安、様々な想いを抱きながら現場に立つのでしょうか。私たちは、新規職員をどのように確保・育成していけばよいのでしょうか？

当法人では新規採用職員求人活動（就職フォーラム等）や就活ウェブ情報サイトなど様々な媒体を活用して人材確保に取り組み、毎年数名の新規職員を採用しています。

桜堤ケアハウスでは、毎年、社会福祉士や中高等学校教員免許などの取得を目的とした介護等体験実習にいくつかの大学から実習生を受け入れています。今年も年間22名の実習生を受け入れる予定で、実習期間5日間から23日間と実習期間は様々です。実習生も「将来資格を取得して現場で働きたいと強い志を持って実習をする」から「とりあえず単位取得を目指す」など学生の意図も様々です。

これまでの実習生に対するオリエンテーションについては、高齢者施設の概要、仕事内容、高齢者福祉の動向を知ってもらうと同時に社会人や職業人として求められるマナーを学んでもらっていました。また、施設側からの課題を提示し実習を行っていました。

今年度より今までのオリエンテーションに加え、実習担当者とその日の実習内容を確認・意見交換をして、実習生自身に日々の課題を考えてもらい実習に臨んでもらっています。少しずつですが実習生自身が課題意識をもって取り組む姿勢が見られてきています。結果として、実習最終日の面接では「福祉施設でボランティアをしてみたい」等興味を抱く実習生が増えつつあります。

実習を通して「昨日より今日、今日より明日」を目指して、何か一つでも実習生が感銘を受け、将来の仕事に対するスタンスを作るきっかけを自ら見つけて貰いたいと考えています。学校で学ぶ理論は勿論大切ですが、社会福祉現場においては利用者とのコミュニケーションを通して、「相手の想いを受け止め、話を聞く力」を養ってもらいたいと考えています。そして「桜堤ケアハウスで」または「この社会福祉法人で」働きたいと思ってもらえるよう、実習生を受け入れる際にも人材確保を念頭において実習生へ丁寧な説明及び助言を行っています。

最後に実習生及び新規職員は職員の言動や仕事に対する姿勢を手本としています。利用者への接し方や職員同士の会話、職員の仕事に対する姿勢などを観察しているのです。役職に係わらず、私たち職員は常に「見られている」という意識をもって、日々の業務に携わっていかねばなりません。



## 保育の場に立つこと

こども発達支援室ウィズ 副館長 鎌倉香苗

私の主資格は、保育士です。他にもいくつかの資格を取得しましたが、学校で学び、現場で実習をして、就職をして、先輩から指導を受けたのは、この資格だけです。

保育士として就職してしばらくしてから、母子入園という部門に配属されました。就学前の母子が、約2ヶ月間の宿泊をしながら、訓練や保育を受ける場所です。

そこでは、集団保育だけでなく、母子へ保育士が、個別に保育をする時間もありました。保育士は、PT・OT・ST・心理のスタッフと同じように、専門性を活かしたかかわりが求められました。

保育のリーダーは、緊張の連続でした。大切な幼児期の2ヶ月間をここで過ごすお母さんたちの目は、私が今まで経験してきた保育で感じたことのないものでした。温かく優しく励ましてくださる中にも、保育士として、子どもに何を提供してくれるのかをしっかりと観られていることがよくわかりました。

この声かけに子どもはどう反応するだろう？声の高さは？長さは？

相手の手や身体に触れてみる？反応があるまでどのくらい待つ？

歌は歌う？ささやくように歌ってみる？

身振り手振りを加える？ゆっくりと動かす？指先だけにする？身体全体を使う？

リーダーとして、保育の場に立つということは、毎日、舞台に立っているようだと思うこともありました。演者と観客よりも、情報量は互いにあるけれど、似た部分があります。独りよがりの芝居に観客はついてきません。相手の反応を伺いながら、様々な手段でアプローチします。もちろん、反応が少ないこともあります。演技をしているわけではないけれど、プロとしてこの場をどう切り回していくか、瞬時に判断することの難しさを常に感じていました。

さて、こども発達支援室ウィズでも、毎日、保育が展開されています。子どもたちは、リーダーをしている職員の声や立ち姿によって、様々な反応を見せます。

ウィズは、子どもたちにとっての幼稚園や保育園と同じです。そして、私が経験した母子入園と同じ、保育の場です。

幼児保育の場に対する保護者の願いはそれぞれありますが、就学前にお友だちの中で健やかに育て欲しいという願いは、みんな同じです。発達に対する配慮の度合いが違っても、その願いは同じだと思うのです。

そして、願いが同じということは、私たちが子どもを見る視点は、すべての保育の場と共通でなくてはならないということです。ウィズのような事業所では、子どもたちの発達の特徴に応じたかかわり方が重視されがちです。しかしながら、それだけが着目されるべきではなく、子どもの発達の基本的な道筋は、みんな同じだということを理解した上でのかかわりが必要です。定型発達の様子がわかるからこそ、ウィズに通っている子どもたちの苦手なことや難しいことに気づき、保育の中で解決する方法を探っていけます。

私たちは保育の専門職として、私たちの事業所は保育の場として、その機能を果たしているのでしょうか。

みなさんはどうですか？みなさんの事業所はどうですか？ご利用者やご家族の願いは、何ですか？事業所が果たすべき機能は、何ですか？みなさんの専門性は何ですか？

それぞれの事業内容は異なりますが、同じ法人の職員として、同じように、ご利用児者の一生のどこかしらの地点での育ちに携わる専門職として、分野ごとの専門性を活かしながら、お互いに刺激し合い、学び合っていければと思います。



8月25日(金)

## 夏まつり

夏と言えば恒例のスイカ割！午前中は大いに盛り上がりました。午後は聴覚障害者の方が代表を務める三鷹の「おつみ連」の方々をお呼びし、地下食堂で阿波踊りです。前半は連の方々の素晴らしい踊りを見学し、後半は御家族・大地・山びこのご利用者も一緒になって実際に阿波踊りの体験です。皆さん見よう見真似ながら笑顔で踊りました。そして午前中に割ったスイカを皆で頬張りながら、連の方々にお話しを聴くなど交流も楽しめました。最後に事前に練習を重ねた手話を使い、連の方々にお礼の言葉を皆でお伝えしました。今日一日、楽しい夏の思い出にして頂けたら良いなと思いました。(小松 弘)

## デイセンターふれあい



8月31日(木)

## 暑気払いをしました！

8月の終わりに暑気払いを実施しました。実施に向けて利用者向けにお知らせを配布し、何を作って食べるのか具体的なイメージ作りを進めたり、買い物リスト作りをして下さる方、前日の買い物に参加して下さる方など、役割分担を相談しながら決め、当日に臨みました。

当日は、施設長も参加し、食後にはデザートでかき氷を食べ、暑さを吹き飛ばしました！最後には「来年は何を作ろうか？」と、もう利用者さんから話題が上がる程、楽しい1日となりました。(渡部 燈子)

## ワークセンター大地



9月6日(水)

## パンの販売会に行ってきました。

市内の高齢者施設で販売会を行いました。販売会のご利用者の接客を学ぶ機会になります。挨拶、パンの袋詰め、お渡し、会計など様々な経験を積む事が出来ます。緊張して上手く出来なかったことも繰り返し経験を積むことで出来るようになっていきます。販売を通して接客とは何かということを少しずつ学んでいければと思っています。高齢者施設を利用されている方も毎回パンの販売会を楽しみにしてくれています。笑顔で「いらっしやいませ」「ありがとうございました」と高齢の方とのふれあいがそこにはあります。自分が作ったパンが売れた時、ご利用者の最高の笑顔が生まれます。(今井 紀弘)

## パールブーケ





9月9日(土)

## お神輿でつながる地域とゆとりえ

秋の長雨の時期、まるでお祭りにあわせたような晴天の中、今年もゆとりえにお神輿がやってきました。昼間はデイサービスのご利用者が、夕方は特養の入居者の方々が、「わっしょい、わっしょい」と手をたたき、大喜びされる笑顔がいくつも見られました。

ゆとりえ開設から21年、井の頭通り商店会のみなさまには大変お世話になっており、地元の商店から納品された食材を、厨房職員が心を込めて調理し提供しています。

これからも地域と施設がつながる取り組みを大切にしていきたいと思います。(本山 由美子)

## 特別養護老人ホームゆとりえ



9月11日(月)

## 敬老の日のプレゼント

大好きなおじいちゃんとおばあちゃんのために、プレゼントを作りました。ハサミで切った画用紙や、ちぎった花紙を紙に貼ってお花を作りました。まだ、使い慣れないハサミですが、みんな一生懸命です。カラフルだったり、花びらがたくさんであったりと、その子によって様々なかわいらしいお花ができました。

お花の飾りは、送迎のバス停になっている桜堤ケアハウスの方たちにも、プレゼントさせていただきました。ケアハウスの村田施設長からの「ありがと」の言葉に、少し恥ずかしそうな子どもたちでした。(中村 麻祐子)



## こども発達支援室ウイズ



### 事務局より 10月の予定

3日(火) 施設長会議	21日(土) あったかまつり
14日(土) 初級1年目研修	25日(水) 第3回理事会
17日(火) 誰でも相談室	31日(火) 経営企画会議
19日(木) 中央衛生委員会	

### <編集後記>

10月に入り、厳しい夏の暑さもだいぶ和らいできましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。季節の変わり目ですので、気温の変化等には十分お気をつけください。

10月21日は武蔵野障害者総合センターで第17回あったかまつりが開催されます。職員一同であったかいイベントになるよう盛り上げていきましょう!

事務局 長谷

